

最近の管内経済概況

(2022年3月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年5月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

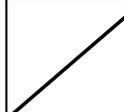
T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2022年5月現在)

発表月	2021年12月	2022年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている	持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	減少している	減少している	減少している	増加している	増加している	増加している	
住宅建設	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数は増加、負債総額は減少している	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

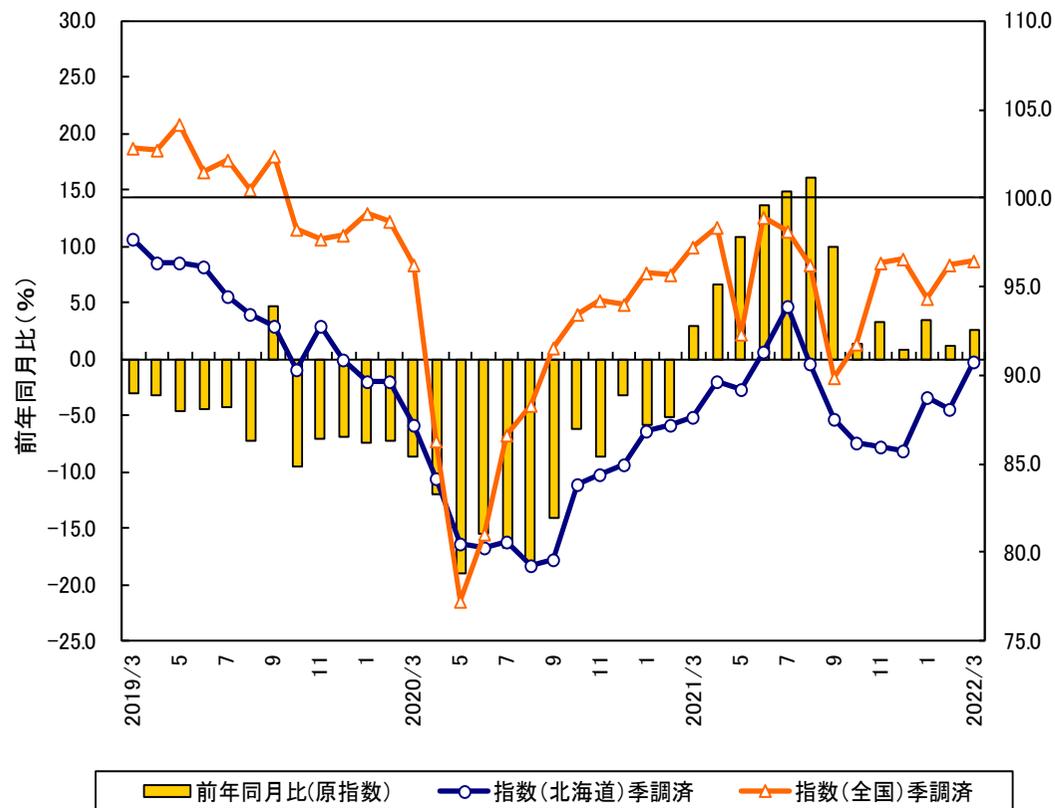
3月の鉱工業生産は、前月比+3.1%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は+2.5%と13か月連続で上昇した。上昇業種は、金属製品工業など10業種となった。低下業種は、食品工業など5業種となった。

<3月>
 季節調整済指数
 北海道(速報) 90.8(前月比+3.1%)
 全国(速報) 96.5(前月比+0.3%)

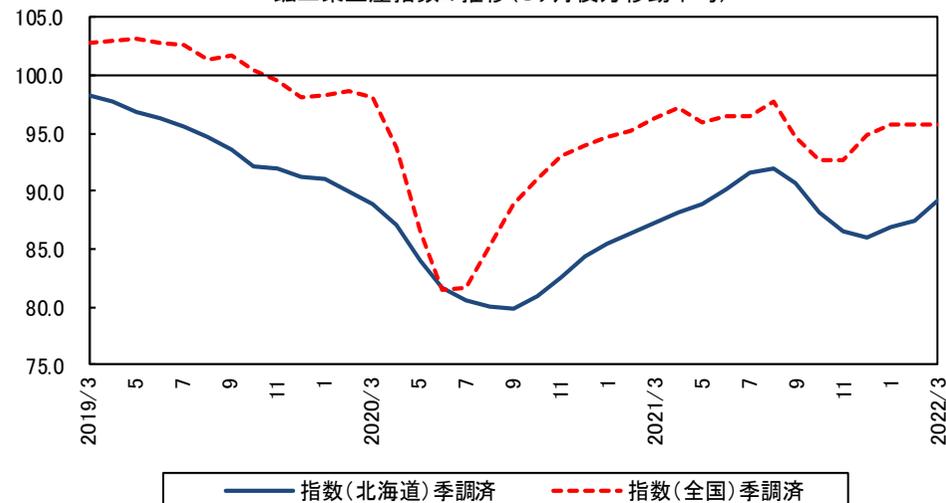
【ヒアリング内容】

- 上昇業種
 - ・自動車産業の動きに伴い、鋼半製品の生産が増加した。(鉄鋼業)
 - ・大型案件の受注があったことから、鉄骨の生産が増加した。今後も堅調に推移する見込み。(金属製品工業)
- 低下業種
 - ・前月にかずのこの生産が増加した反動で、3月の塩蔵品の生産が減少した。(食品工業)

鉱工業生産指数(2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

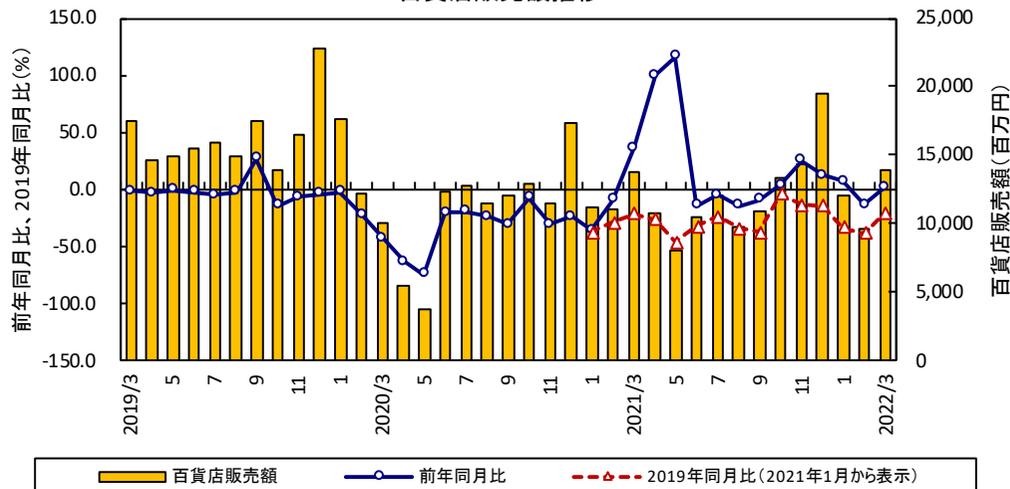
個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

3月の個人消費は、ホームセンター、新車販売は前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

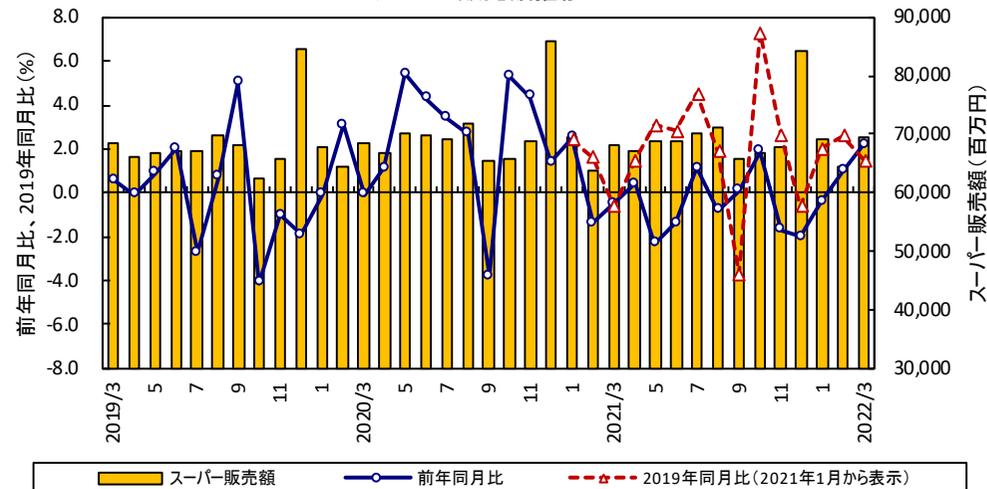
※2019年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+1.7%（2019年同月比▲20.3%）と2か月ぶりに前年を上回った。
- スーパーは、衣料品などの売上げが不調だったものの飲食料品が好調で、同+2.2%（同+1.5%）と2か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.0%（同+1.4%）と5か月連続で前年を上回った。

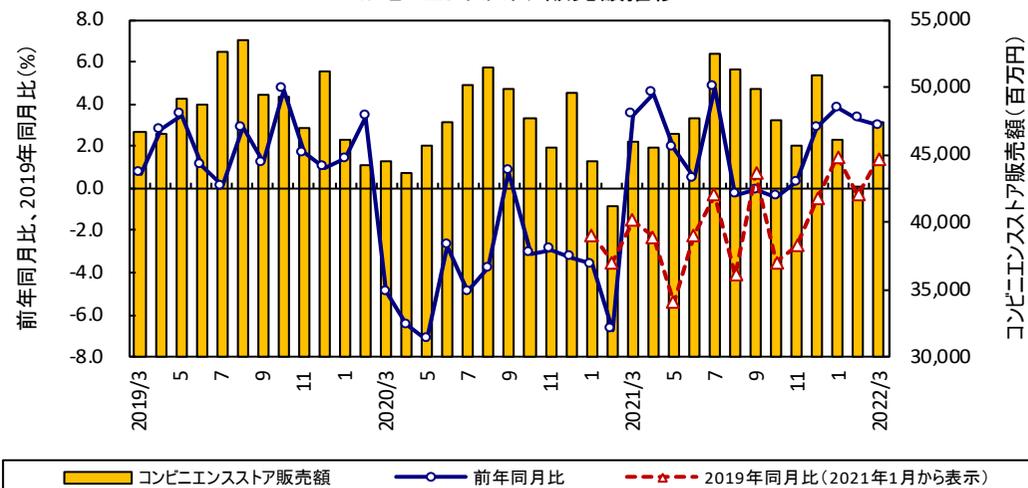
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

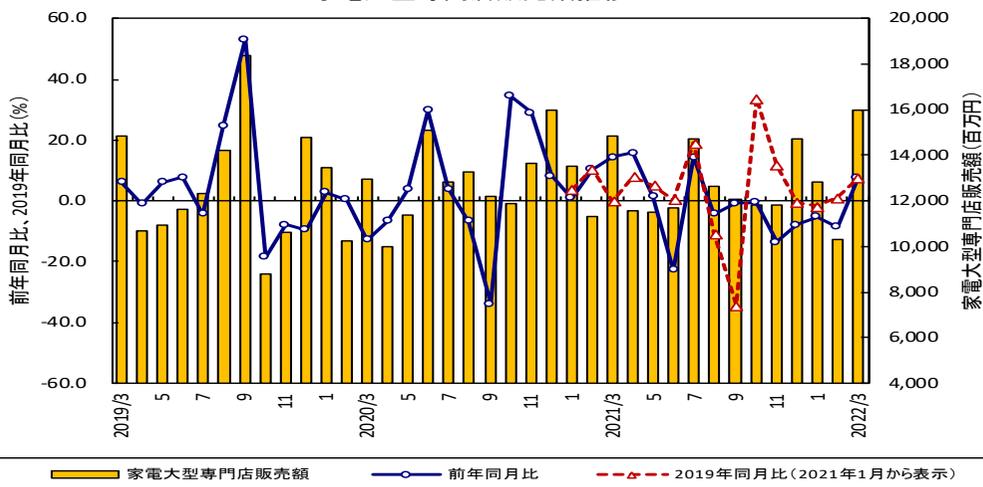
【ヒアリング内容】

- まん延防止等重点措置終了の方針が示された3月中旬頃から、売上げ、客数が増加傾向となった。春物衣料が伸びているほか、富裕層の動きも堅調で、売上げが前年を上回った。（百貨店）
- 天候がすぐれない日が多かったことから、春物衣料の動きが鈍かった。一方で、食料品の売上げは好調で、ひな祭りやホワイトデーなど催事商品の売上げも良かった。（スーパー）
- 住宅街店舗の売上げは引き続き堅調で、家飲みが定着したためか、アルコール飲料の売上げが好調だった。繁華街店舗の夜の売上げが回復傾向にあるほか、地域を跨ぐ人の動きが増加傾向にあり、まん延防止等重点措置の終了後はその動きが顕著になっている。（コンビニエンスストア）

（資料：北海道経済産業局）

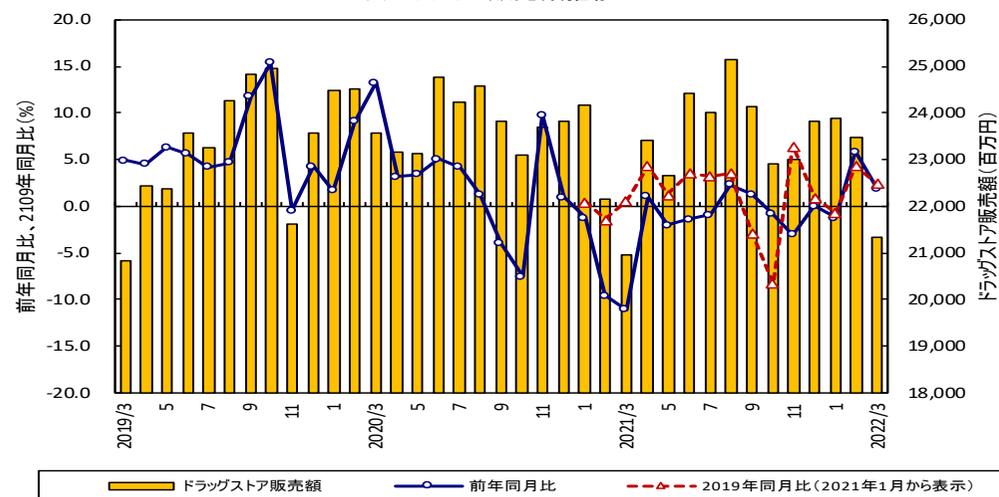
- 家電販売は、同+7.5%（同+7.5%）と8か月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは、同+1.9%（同+2.5%）と2か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲7.5%（同▲1.7%）と3か月連続で前年を下回った。
- 新車販売は、同▲15.5%（同▲24.1%）と9か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



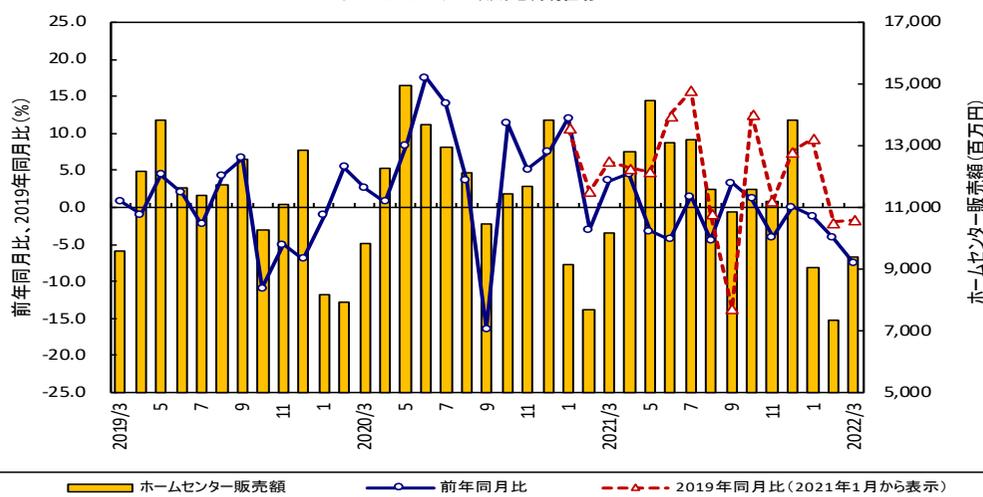
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

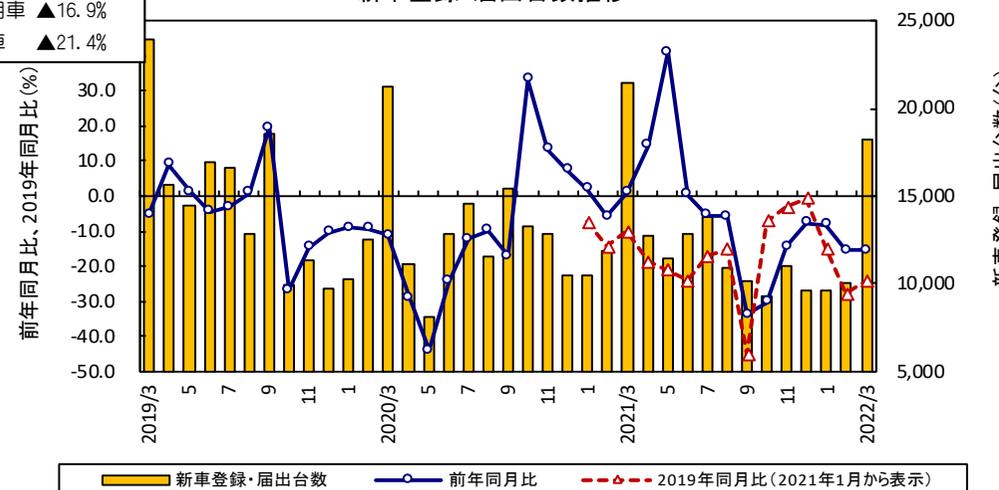
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 3月 >
 普通乗用車 ▲ 9.0%
 小型乗用車 ▲ 16.9%
 軽自動車 ▲ 21.4%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

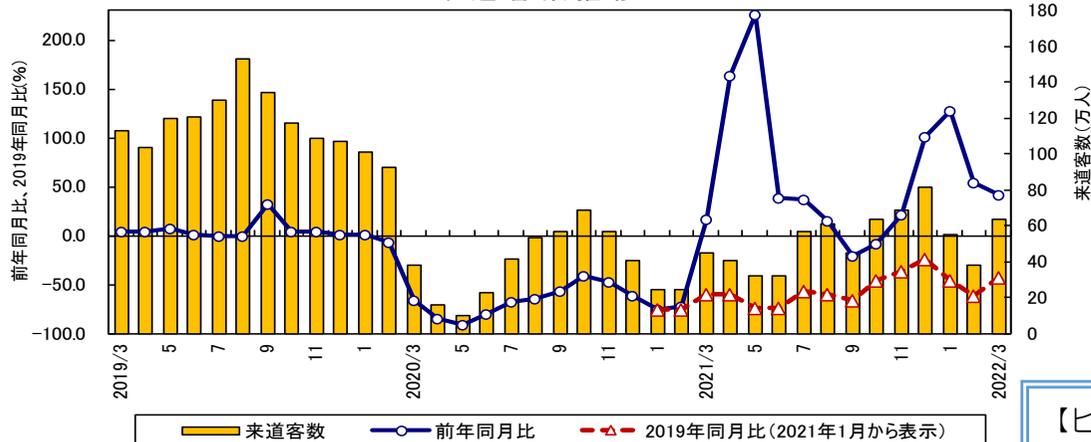
【ヒアリング内容】

- 新生活需要として、テレビや白物家電の売上げが好調だった。また、2月に続きエアコンの売上げが大きく伸びている。（家電大型専門店）
- 新規感染者数が下げ止まる中、2月に続き抗原検査キットや、在宅需要として食料品などの売上げが良かった。食料品を中心に値上げが続いており、節約志向の高まりからか、プライベートブランド商品や特売品の売上げが好調だった。（ドラッグストア）
- 天候に恵まれない日が多かったことから、客数が減少し、園芸用品などの売上げが悪くなかった。（ホームセンター）

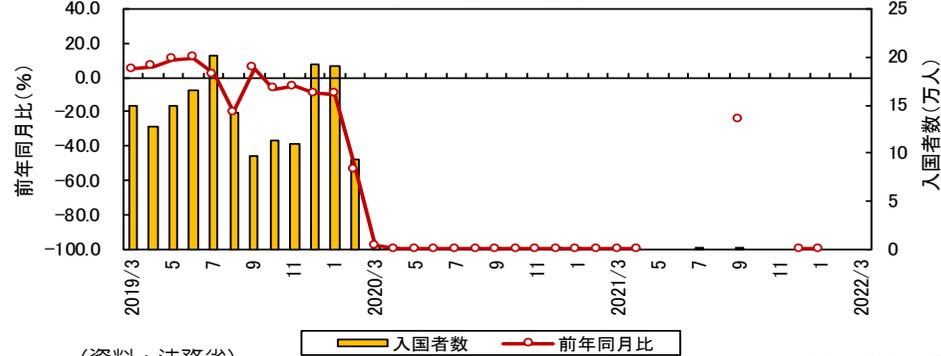
観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

3月の来道客数は、前年同月比+41.9%（2019年同月比▲43.4%）と5か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で前年同月と同数となった。

来道客数推移



道内外国人入国者数



(資料：法務省)

注(P)は速報値

<3月> 来道客数 638,952人 (+41.9%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

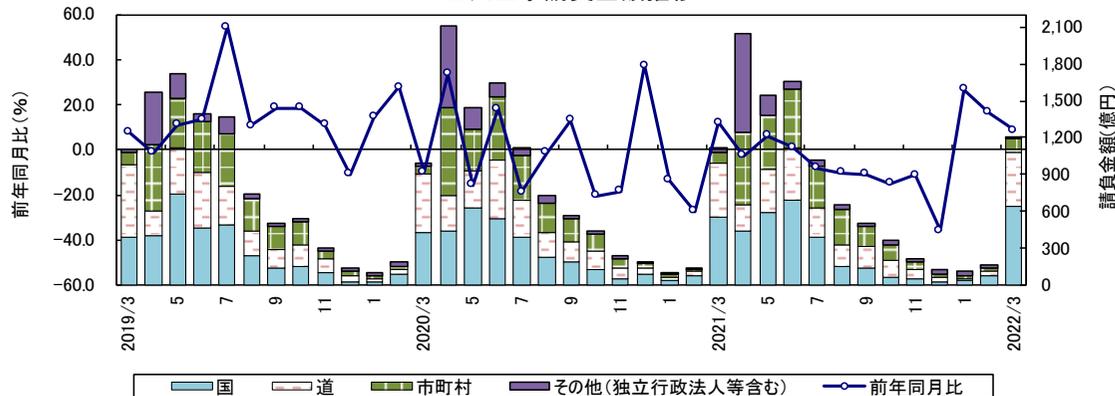
【ヒアリング内容】

- ・3月は、まん延防止等重点措置の終了前後から、卒業旅行者などの若い世代の観光客が増え始め、前年よりは好調。また、4月に入ってから、幅広い年代の観光客がみられるとともに、少人数グループの旅行者や観光バスでの団体客も若干みられ、前年よりも人出があった。(関係機関)

公共工事 ～ 増加している ～

3月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を上回り、前年同月比+8.6%と3か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額推移



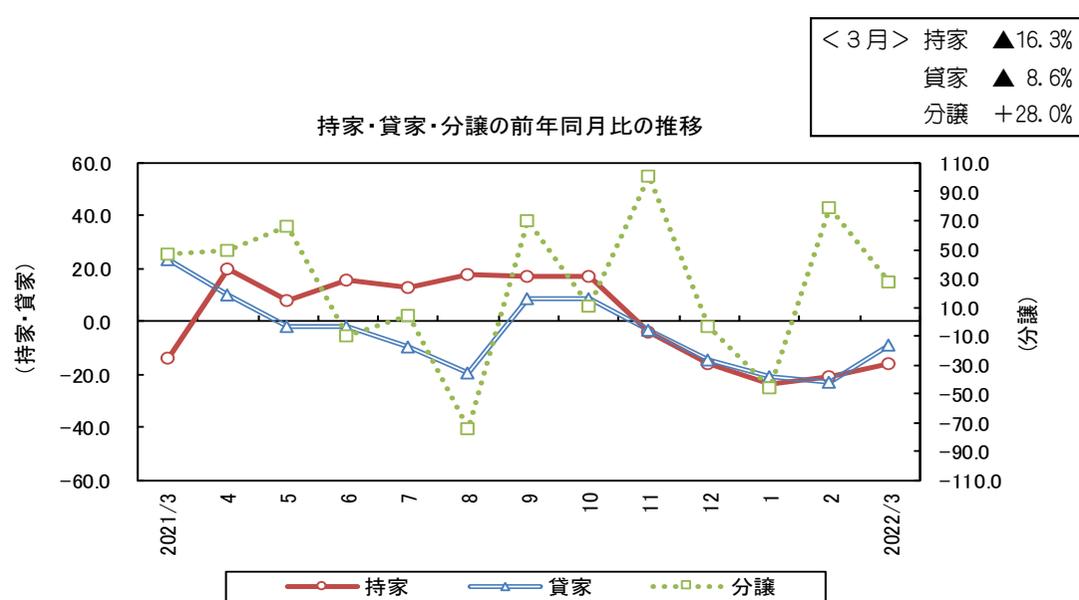
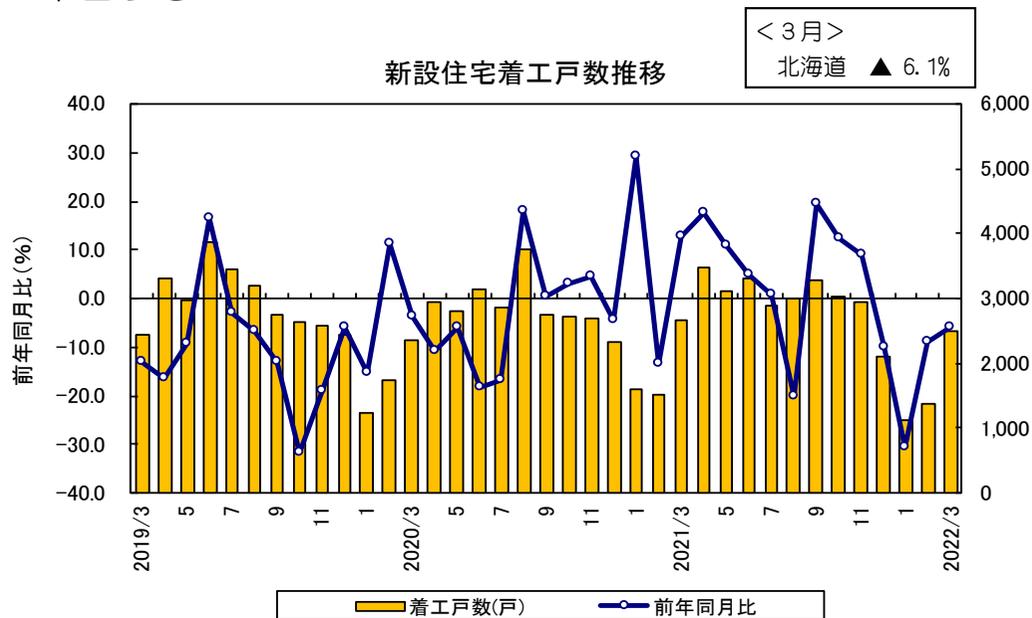
<3月>
 北海道 + 8.6%
 (内訳)
 国 +14.8% 道 + 0.3% 市町村 +30.8% その他 ▲36.6%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱まっている ～

3月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったが、持家、貸家が前年を下回り、前年同月比▲6.1%と4か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+5.6%と2年ぶりに前年度を上回った。なお、2022年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2022年4月1日発表

	2021年度	2022年度
北海道	+ 5.6%	▲ 5.9%
製造業	▲ 25.1%	+ 8.7%
非製造業	+ 23.3%	▲ 11.1%
全国	+ 4.6%	+ 0.8%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年3月11日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 31.9%
製造業	▲ 19.2%	+ 34.4%
非製造業	▲ 19.6%	+ 31.2%

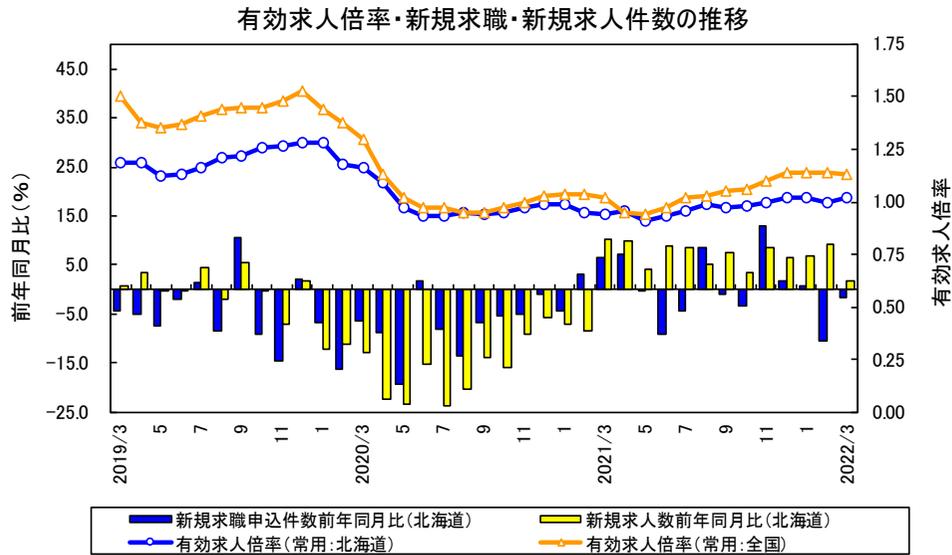
※数値は対前年比増減率。

(資料：北海道財務局)

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

3月の有効求人倍率は、1.03倍と前年同月差0.07ポイント上昇し、10か月連続で前年を上回った。

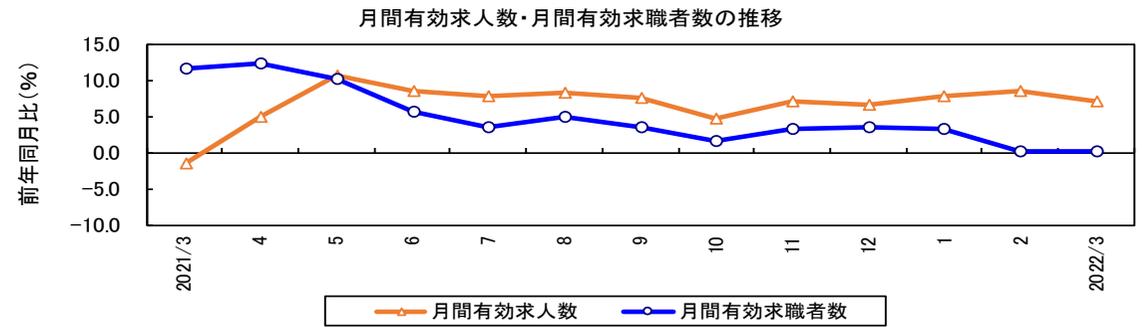


< 3月 >

北海道	有効求人倍率 (常用)	1.03倍
	新規求職人数(前年同月比)	+ 1.9%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 1.5%
全国	有効求人倍率 (常用)	1.13倍

< 3月 >

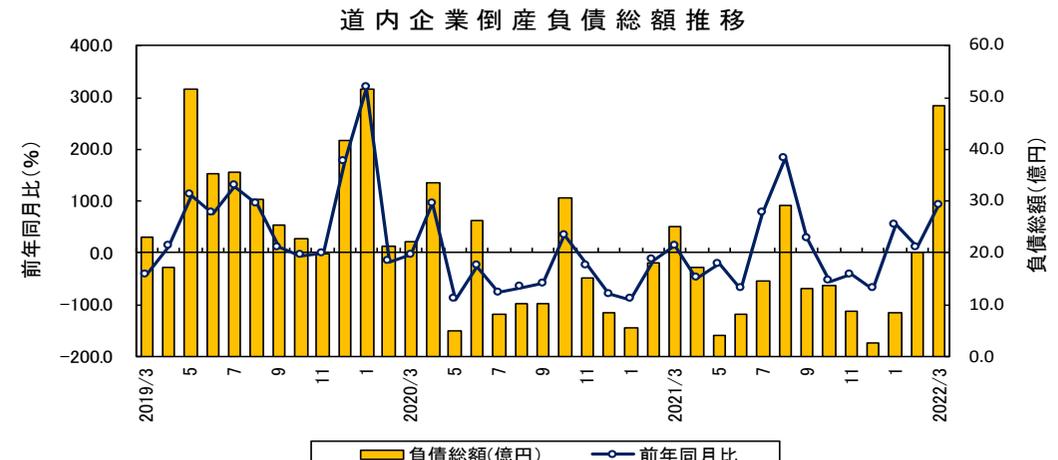
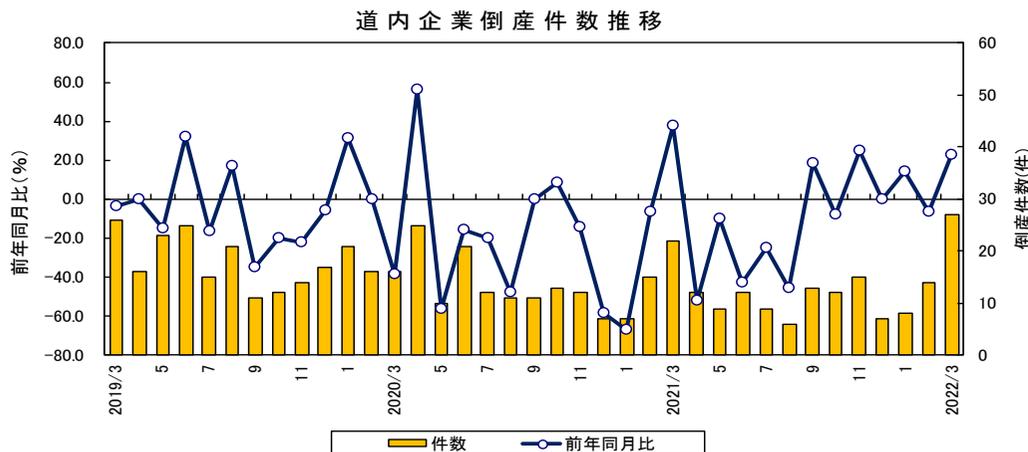
月間有効求人人数 (前年同月比)	+ 7.2%
月間有効求職者数(前年同月比)	+ 0.3%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

3月の倒産件数は27件で、前年同月比+22.7% (5件増) と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は48.5億円で、同+92.4%と3か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)